



Nippon Computer Dynamics Co.,Ltd.

For the Best IT Partner

第51期中間報告書

平成27年4月1日 ▶
平成27年9月30日

日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに当社第51期中間期(平成27年4月1日から9月30日まで)の
事業内容をご報告いたします。
今後とも皆様のご理解と一層のご支援を賜りますよう
お願い申し上げます。



代表取締役社長 下條 治

経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安による企業業績の改善や設備投資の増加がみられたものの、中国経済をはじめとする海外景気の下振れ懸念から、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当情報サービス業界におきましては、クラウドコンピューティングやスマートフォン、タブレット型端末の普及によりIT環境はめまぐるしく変化してきており、また、直前に迫ったマイナンバー制度への早急な対応など、企業の情報関連投資は活発化傾向にあります。

このような環境のもと当社グループにおきましては、スロー

ガン『Change & Challenge』をさらに加速させ、環境の変化に即応するアクティブな企業体質への転換を図ってまいりました。

特に当期におきましては、次代を担うNewサービスの創出を強力に推進するため、「スマートビジネス部」「アジア推進部」を統合した「新ビジネス推進部」を立上げ、積極的に活動いたしております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、当社単独では前年同期と比較して増収となりました。また営業利益、経常利益においても、Newサービス創出に係る研究開発費などの増大により赤字となった第1四半期からは回復し、前年同期と比較し増益となりました。一方、子会社の株式会社

ゼクシスは、本社移転による経費増等があったものの、順調に案件獲得が進み、計画通りの売上、利益を確保いたしました。また、NCDテクノロジー株式会社は、IT基盤事業拡大への継続投資により、利益確保は下期以降となる予定です。

以上により、当第2四半期連結累計期間の売上高は、6,347百万円（前年同期比5.1%増）、営業利益47百万円（前年同期比138.8%増）、経常利益67百万円（前年同期比123.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益20百万円（前年同期比20.1%減）となりました。

セグメント別概況につきましては、システム開発事業は、営業体制強化による効果が表われ順調に案件獲得が進んだことにより増収となりました。またプロジェクト進捗管理、品質管理強化策が効を奏し、不採算プロジェクトの解消が進んだことにより大幅な増益となりました。この結果、売上高2,538百万円（前年同期比6.4%増）、売上総利益378百万円（前年同期比74.3%増）となりました。

サポート&サービス事業におきましては、順調な増員要請に基づく事業拡大は続いておりますが、新規領域獲得のための投資がかさみ、増収減益となりました。この結果、売上高1,621百万円（前年同期比6.1%増）、売上総利益150百万円（前年同期比11.9%減）となりました。

パーキングシステム事業におきましては、自治体の指定管理案件や月極め駐輪場のECOPOOL（※1）の受注が順調に伸びてきており、増収増益となりました。この結果、売上高2,170百万円（前年同期比4.2%増）、売上総利益417百万円（前年同期比8.0%増）となりました。

（※1）ECOPOOL（エコプール）

24時間、どこからでもスマートフォン、パソコンからWebでの契約、更新、解約、キャンセル待ち等の手続きができ、更にクレジットカードやコンビニエンスストアでの決済を可能にした、月極め駐輪場運営システムです。

財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ501百万円減少し、9,557百万円となりました。減少した主なものは、受取手形及び売掛金の538百万円及び現金及び預金の50百万円であります。一方、増加した主なものは、仕掛品の109百万円です。負債は、前連結会計年度末に比べ454百万円減少し、7,030百万円となりました。減少した主なものは、流動負債その他の281百万円及び買掛金の191百万円です。また、純資産は、前連結会計年度末に比べ46百万円減少し、2,527百万円となり、自己資本比率は、前連結会計年度末の25.6%から26.4%となっております。

連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今期業績につきましては、平成27年5月15日に公表しました平成28年3月期の連結業績予想に変更はございません。

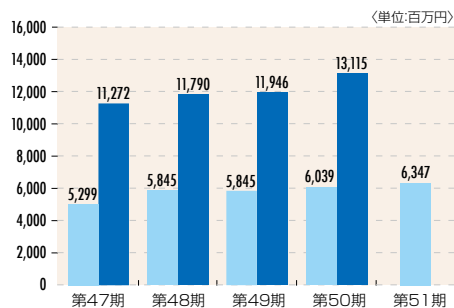
利益配分に関する基本方針及び中間配当

企業体質の強化と積極的な事業展開に備えて内部留保に努めるとともに、配当性向や配当利回りなどを総合的に判断し、安定的な配当を維持することを基本方針として実践してまいりました。今後におきましても、経営基盤の一層の強化と積極的な事業展開を継続しつつ、配当性向として40%を目標に適切な利益還元を実施していく所存であります。

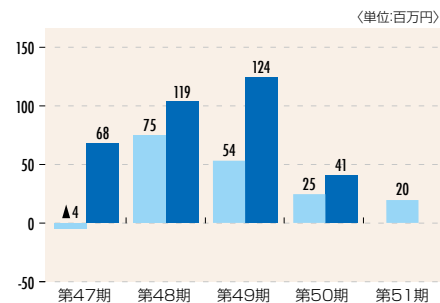
また、中間配当につきましては1株当たり5円とすることいたしました。

連結業績

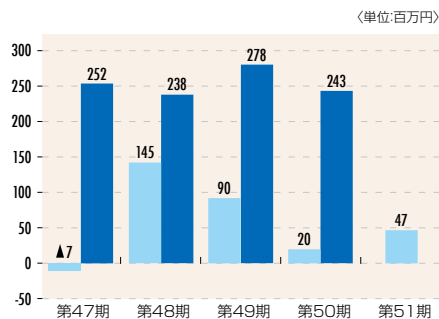
売上高



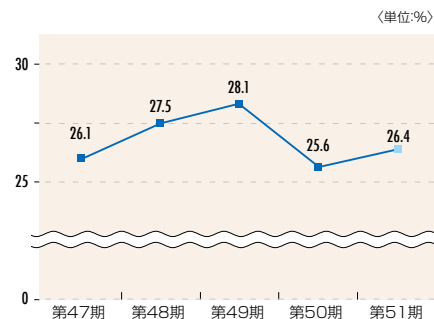
当期純利益



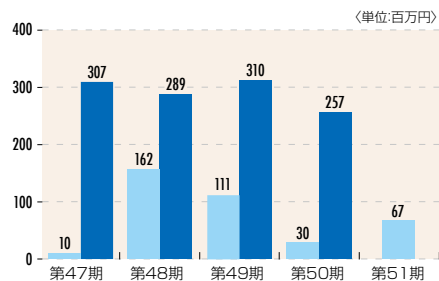
営業利益



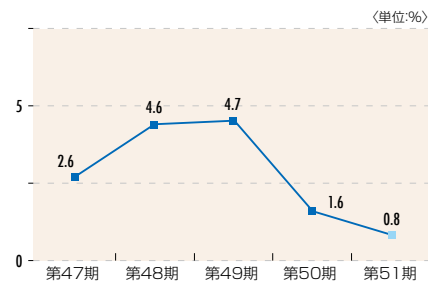
自己資本比率



経常利益



自己資本利益率



中間連結財務諸表（要約）

●中間連結貸借対照表

〈単位:千円〉

科目	期別 当第2四半期末 (平成27年9月30日現在)	前会計年度末 (平成27年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	5,453,397	5,922,434
固定資産	4,103,924	4,136,322
有形固定資産	796,816	790,156
無形固定資産	122,496	156,197
投資その他の資産	3,184,610	3,189,968
資産合計	9,557,321	10,058,757
負債の部		
流動負債	3,287,130	3,810,153
固定負債	3,743,132	3,674,918
負債合計	7,030,262	7,485,072
純資産の部		
株主資本	2,458,633	2,481,907
その他の包括利益累計額	68,425	91,778
純資産合計	2,527,058	2,573,685
負債純資産合計	9,557,321	10,058,757

●中間連結損益計算書

〈単位:千円〉

科目	期別 当第2四半期累計期間 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)	前第2四半期累計期間 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)
売上高	6,347,472	6,039,898
売上原価	5,427,531	5,270,244
売上総利益	919,940	769,653
販売費及び一般管理費	872,089	749,611
営業利益	47,851	20,041
営業外収益	30,700	20,540
営業外費用	11,445	10,580
経常利益	67,105	30,001
特別損失	41,609	—
税金等調整前四半期純利益	25,495	30,001
法人税等	5,161	4,538
四半期純利益	20,334	25,463
親会社株主に帰属する四半期純利益	20,334	25,463

●中間連結キャッシュ・フロー計算書

〈単位:千円〉

科目	期別 当第2四半期累計期間 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)	前第2四半期累計期間 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)	科目	期別 当第2四半期累計期間 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)	前第2四半期累計期間 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	122,666	198,562	現金及び現金同等物に係る換算差額	240	△ 214
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 119,037	△ 176,016	現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 50,288	△ 75,374
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 54,158	△ 97,706	現金及び現金同等物の期首残高	2,181,371	2,235,885
			現金及び現金同等物の四半期末残高	2,131,082	2,160,510

財務諸表など決算情報は、ホームページで開示しています。 <http://www.ncd.co.jp/>

国内最大規模のクラウド・イベント Salesforce Summer Tokyo 2015 に出展



7月24日(金)、虎ノ門ヒルズフォーラムにて開催された株式会社セールスフォース・ドットコム主催のイベント『Salesforce Summer Tokyo 2015』に出展いたしました。

NCDでは、当社が提供するSalesforce向けサービスとして帳票作成ツール「Smart Report Meister (スマートレポートマイスター)」、画面作成・データ視覚化ツール「Smappi (スマッピー)」を展示し、ご来場のお客様より大変ご好評を頂き、大盛況の内に終了しました。



 **Smart Report Meister**
for Salesforce

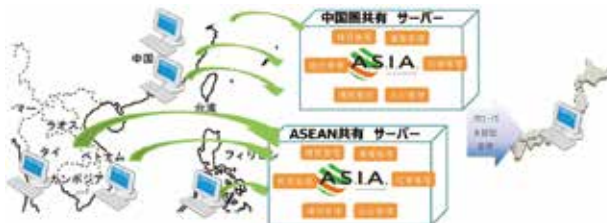
 **SMAPPI** 画面作成・データ視覚化ツール
- Smart Map Point Interface -

グローバル企業向けにERPを シェアードサービスで提供開始

現在、日系企業の海外進出が進んでおり、今後さらにこの傾向が加速していくことが予想されています。このような状況においては、現地法人または関連企業グループ内で分散して行われている業務を本社部門に集中させることにより、コスト削減、管理品質向上、及びガバナンス強化を図ることがグローバル経営の視点から求められています。

NCDは、長年取り扱っている中国ERPソフト「用友」を中国向けと位置づけ、ASEANをはじめとする中国以外のアジア地域や欧米も含めたグローバルニーズに対応することを目的として、この度、東洋ビジネスエンジニアリング株式会社(東京都千代田区)と、同社が提供するグローバルERP「A.S.I.A.」(エイジア)をベースにした「グローバル企業向けERPシェアードサービス」販売に関する「セールスパートナー契約」を締結しました。

これにより、日本の親会社と海外現地法人のお客様のシステム化ニーズにお応えするサービスを充実させ、グローバルレベルでの柔軟かつ実践的な提案力を強化します。また、各グループ企業や海外現地法人が作成したデータの集中管理や、企業グループのグローバル経営管理にも繋げていきます。



グローバル企業向けのERPシェアードサービスのイメージ図

Wagby導入事例セミナーを開催

9月18日(金)、NCD本社にてWagby導入事例セミナーを開催し、20名を超えるお客様にご来場いただきました。

セッション1では、Wagbyのメーカー株式会社ジャスミンソフトの賛社長にご登壇いただき、『Wagbyが目指す超高速開発の未来』というテーマでご講演いただきました。

続くセッション2ではソリューションサービス部及び営業部より、NCDでのWagby導入事例のほか、Wagbyを使って開発した「販売管理テンプレート」をご紹介します。Wagbyは、受発注から請求・支払、在庫管理までを行う業務システムを、テンプレートの活用により短期間で構築できる、国内トップクラスの導入実績を誇る高速開発ツールです。業種・業態にあわせたカスタマイズや、顧客管理、ハンディターミナルの活用、会計システムをはじめとする他システムへの連携も可能な点などの特徴をポイントを押さえて解説するほか、アプリケーションのデモも実施し、より具体的にメリットをご理解いただきました。



ITpro EXPO 2015 に 「超高速開発コミュニティ」で共同出展

9月30日(水)～10月2日(金)の三日間、東京ビッグサイトで開催された“ITpro EXPO 2015”に出展いたしました。今回は超高速開発の認知度向上やノウハウ共有を目指す業界団体「超高速開発コミュニティ」での共同出展という形で、会員会社9社で、「超高速開発」というキーワードの普及に努めました。NCDでは、“Wagby”を用いた「販売管理テンプレート」をご紹介します。テンプレートのデモを実際にご覧いただきました。



奉行フォーラム 2015 in 東京に出展

10月7日(水)、ANAインターコンチネンタルホテルにおいて“奉行フォーラム 2015 in 東京”が開催され、当社もパートナー企業として出展いたしました。

今回の同フォーラムは、普段当たり前に行っている業務など企業や部門に潜む「非効率な業務」の解決をテーマに開催されましたが、NCDからは今回新たに開発した『ハンディ倉庫管理 for 商蔵奉行』を紹介しました。これはOBCの販売・在庫管理システム“商蔵奉行”に連携する製品で、ハンディターミナルを使って入出荷の検品や棚卸を行うシステムです。

当日は、商蔵奉行をお使いのエンドユーザー様、また販売管理の製品の導入を行っているパートナー企業など多くの方にブースに足を運んでいただきました。



自転車の楽しみ方を様々な角度から伝える NCD発!スポーツサイクル専門メディア【Life-B】オープン



<http://life-b.jp/>



モバイルフレンドリー設計で、タブレットやスマートフォンからも見やすいデザインに



Facebookページ



Twitter公式アカウント

2015年8月7日に、自転車の楽しみ方を伝える情報ポータルサイト「Life-B(ライフビー)」を公開しました。

サイト名の「Life-B」は“Life×Bicycle”という言葉から取っており、「自転車に関わる全ての人にLife-Bを」をコンセプトにしています。パーキングシステム事業部が企画・編集を行い、自転車の楽しみ方や有効活用法、サイクルビギナーの成長日記等、ライフスタイルと自転車を繋ぐ接続詞のようなコンテンツを提供しています。

ポータルサイトに加えて、ソーシャルメディアのFacebookでも情報発信。「Life-B」での更新情報のお知らせの他、YouTubeに掲載した動画も配信します。あわせて、Facebookをユーザー間でのコミュニケーションの場としても活用していただきたいと思います。

またTwitterにおいても公式アカウントを開設し、簡潔に素早く情報を提供できるTwitterの特性を活かして、コンテンツ更新情報にまつわる話題やこぼれ話などを発信しています。

今後もこのサイトをハブとして、自転車を愛する全ての皆さんの一日に、ほんの少しの楽しみとユーモアをお届けしてまいります。

<主なコンテンツ>

インタビュー



自転車のプロアスリートや、サイクルファンの著名人に、Life-B編集部が突撃インタビュー

スポーツ自転車入門



自転車業界のコンサルタントが、スポーツとしての自転車の魅力を楽しく分かりやすく、シリーズ形式で解説していきます

Bicycle snap!



クロスバイクやロードバイクユーザーに、自転車と一緒に経験した楽しいことや辛いことなど、面白おかしいSTORYをご紹介します

自転車専用ロッカー「B-box」のサービス提供開始

今年3月にリリースした自転車専用ロッカー「B-box」による駐輪場のサービスを2拠点で開始しました。

近年、ロードバイクなど高価なスポーツ自転車に乗るユーザーが増えていますが、NCDが2015年3月に実施した利用者アンケート（自転車イベント来場の自転車所有者65名）では、「駐輪する場所がない」「駐輪場所での盗難が不安」といった声が多く聞かれました。NCDではこうした声を受け、大切な自転車を盗難、キズ、イタズラから守り、安心して駐輪することができる自転車専用ロッカー「B-box」を開発。2015年4月7日に武蔵境駅前（東京都武蔵野市）の駐輪場で運営を開始しました。そして9月12日には、大宮駅西口のSAITAMA Cycle Station（さいたまサイクルステーション）に「B-box」駐輪場がオープン。自転車のまちづくりを積極的に進めているさいたま市では、「さいたま市コミュニティサイクル」をはじめ、クロスバイク&電動アシスト自転車レンタルサービス、及び自転車関連の情報提供サービスが実施されています。NCDは、今回のB-box事業を契機として、さいたま市及び関係事業者と連携し、スポーツ自転車での通勤など自転車利用のより一層の促進、及び快適な自転車環境の創出を目指します。



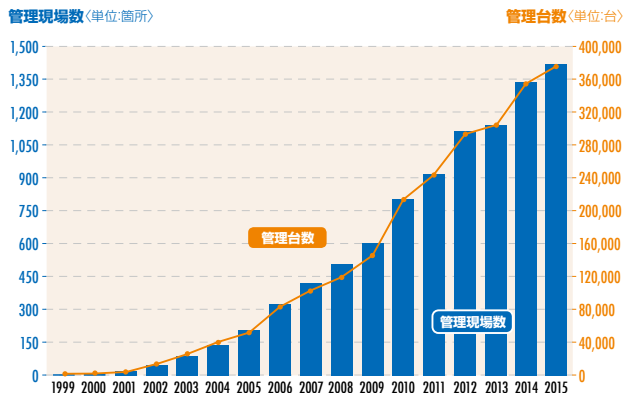
大宮駅西口
SAITAMA Cycle Station に設置



施設内に設置されたB-box

EcoStation21[®]の導入実績が引き続き増加中

全国で **1,435**箇所、**379,384**台が稼働中（2015年11月1日現在）



創業以来約50年の知見と経験に基づくIT技術とコンサルティング力を、社会のより良い暮らしに役立てたい。そんな思いから1999年にスタートした駐輪場管理システムEcoStation21[®]は、日本各地の駐輪問題を解決し、地域の皆様に安心・快適な暮らしを広げています。2015年11月現在、全国で1,435箇所、379,384台が稼働中です。

板橋区役所
来庁者専用駐輪場

全国でも珍しい公共建築物における
電磁ロック設置実績

大崎ブライトコア駐輪場
(ES21・ECOPOOL)

再開発中の大崎エリアで9月オープン

NCDグループの状況

NCDグループは、NCD及び子会社の4社で構成されており、システム開発事業、サポート&サービス事業及びパーキングシステム事業を主として行っております。

当社グループ企業とセグメントとの関連は、次のとおりです。

システム開発事業

NCD、ゼクシス、NCDテクノロジー、
天津恩馳徳信システム開発有限公司

- システムコンサルティング
- システムインテグレーションサービス
- システム&インフラ構築サービス
- パッケージ導入・構築サービス

サポート&サービス事業

NCD、ゼクシス、NCDテクノロジー

- アプリケーション・インフラ保守サービス
- テクニカルサポートサービス
- アウトソーシングサービス(365日・24時間体制のワンストップサポート)
- IT業務サポートサービス

パーキングシステム事業

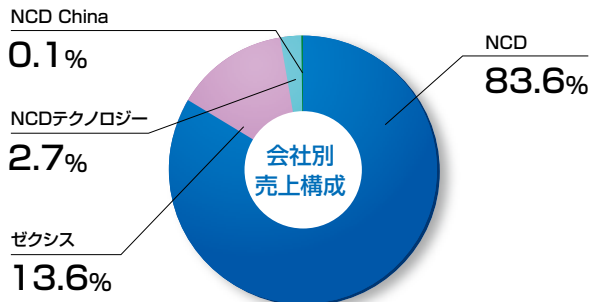
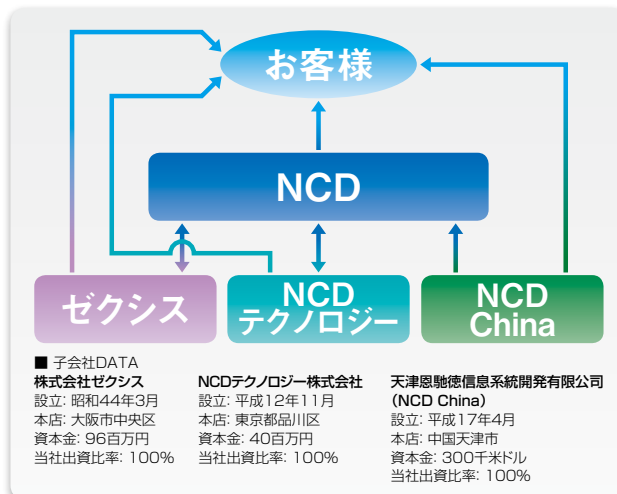
NCD、NCDテクノロジー

- 自転車関連の総合コンサルティング
- 自転車管理システムの販売及び運営
- 駐輪場の設営・運営・管理受託
- 時間貸し自転車(コミュニティサイクル)運営

その他

NCD、ゼクシス、NCDテクノロジー

- その他のサービス



NCDグループの主要取引先

アクセンチュア(株)、伊藤忠テクノソリューションズ(株)、エスアールエルグループ、(株)オービックビジネスコンサルタント、(株)ぐるなび、(株)ザイマックス、西部ガスグループ、商船三井システムズ(株)、新日鉄住金ソリューションズ(株)、ソニーグループ、高砂熱学工業(株)、(株)竹中工務店、東京海上グループ、東京ガスグループ、東京鐵鋼(株)、ニッセイ情報テクノロジー(株)、ニフティ(株)、日本アイ・ビー・エム(株)、日本水産(株)、日本トイズラズ(株)、日本ヒューレット・パッカード(株)、パナソニックグループ、富士ゼロックス(株)、富士ゼロックス情報システム(株)、マニユライフ生命保険(株)、三井住友海上火災保険(株)、三井物産エレクトロニクス(株)、メットライフ生命保険(株)、(株)ヤクルト本社、CTCテクノロジー(株)、JSRグループ、(株)JTBコーポレートセールス、(株)KADOKAWA、(株)KDDIエポルバ、NSSLCサービス(株)、NTTコミュニケーションズ(株)、(株)NTTデータ、SCSK(株)、小田急電鉄(株)、京王電鉄(株)、京阪電気鉄道(株)、京浜急行電鉄(株)、西武鉄道(株)、東京急行電鉄(株)、阪急電鉄(株)、JR東日本(株)、京王ストア、(同)西友、(株)ダイエー、(株)東急ストア、(株)丸井、(株)ヨドバシカメラ、朝霞市、板橋区、江戸川区、大田区、江東区、さいたま市、相模原市、品川区、渋谷区、新宿区、世田谷区、台東区、立川市、豊島区、中野区、柏市、川口市、川崎市、多摩市、戸田市、名古屋市中区、名古屋市、福岡県、ふじみ野市、港区、目黒区、和光市 他

会社概要 (平成27年9月30日現在)

商号 日本コンピュータダイナミクス株式会社
Nippon Computer Dynamics Co., Ltd. (NCD)

設立年月日 1967(昭和42)年3月16日

資本金 438,750,000円

事業所 本社 東京都品川区西五反田四丁目32番1号
福岡営業所 福岡県福岡市博多区千代一丁目19番13号
長崎営業所 長崎県長崎市万才町二丁目7番

従業員の状況

NCDグループ	NCD
841名	568名

(注) 1.従業員数は就業人員数であり、執行役員を含みます。
2.上記には、契約社員、パートタイマー、嘱託契約の従業員及び派遣社員を含みません。

認定資格

ISO9001認証取得
プライバシーマーク付与認定事業者
ISMS(ISO/IEC27001)認証取得
ITSMS(ISO/IEC20000-1)認証取得
日本オラクルEBS CERTIFIED PARTNER認定
OBC ERP SOLUTION PARTNER認定

株式の状況 (平成27年9月30日現在)

発行可能株式総数 14,000,000株
発行済株式の総数 8,721,484株 (自己株式78,516株を除く)
単元株式数 100株
株主数 4,850名

●大株主(上位10名)

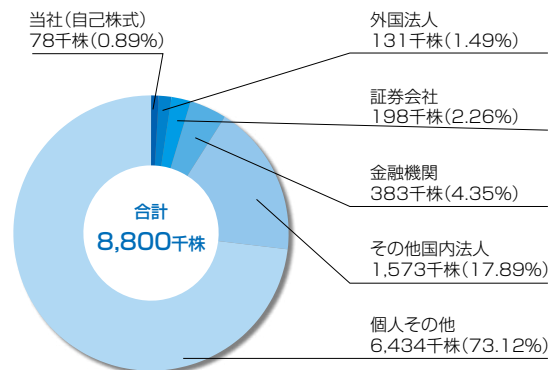
株主名	持株数	出資比率
エスアンドエス有限会社	780千株	8.94%
NCD社員持株会	509	5.84
下條 武 男	460	5.27
株式会社北斗	430	4.93
小黒 節 子	280	3.21
原 睦 男	230	2.64
寺内 吉 孝	225	2.58
山田 正 勝	172	1.97
村山 俊 生	167	1.91
日本証券金融株式会社	161	1.86

(注) 出資比率は自己株式(78,516株)を控除して計算しております。

役員 (平成27年9月30日現在)

代表取締役社長	下條 治	執行役員	田辺 信幸
取締役相談役	伊藤 敬夫	執行役員	宮田 大介
取締役執行役員	村山 俊生	執行役員	小林 勇記
取締役執行役員	岸 賢	執行役員	杉本 典彦
取締役執行役員	森山 聡	執行役員	中根 純一
取締役執行役員	上田 晋太郎		
社外取締役	高木 洋二		
社外取締役 (監査等委員)	井元 義久		
社外取締役 (監査等委員)	中山 かつお		
社外取締役 (監査等委員)	仙北谷 哲男		

●株式数構成比



事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (通話料無料)
同連絡先	
上場市場	東京証券取引所 JASDAQ市場(証券コード4783)
公告の方法	電子公告により行います。 http://www.ncd.co.jp/(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)
公告掲載URL	

(ご注意)

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主優待制度のご案内

株主の皆様の日頃のご支援にお応えするため、以下の株主優待制度を実施しております。

対象となる株主様	毎年9月30日現在の株主名簿に記載または記録された1,000株以上の株式を保有していただいている株主様を対象といたします。
株主優待制度の内容	1,000株以上3,000株未満保有の株主様: 「JCBギフトカード2,000円分」または「宮城県産米ひとめぼれ2kg」または「日本赤十字社へ2,000円を寄付」 3,000株以上5,000株未満保有の株主様: 「JCBギフトカード3,000円分」または「宮城県産米ひとめぼれ5kg」または「日本赤十字社へ3,000円を寄付」 5,000株以上保有の株主様: 「JCBギフトカード5,000円分」または「宮城県産米ひとめぼれ10kg」または「日本赤十字社へ5,000円を寄付」
贈呈時期	ご希望の優待品を確認させていただいた上で、贈呈及び寄付をいたします。 贈呈時期は12月下旬以降(JCBギフトカードは1月初旬以降)の発送を予定しております。

※株主優待品の確認のご案内は、11月2日に別途発送いたしました。

日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田四丁目32番1号
TEL.03-5437-1021

企業情報サイト ▶ <http://www.ncd.co.jp/>

 本報告書に関するお問合せ先 総務部 TEL.03-5437-1021



この印刷物(冊子)は、地球環境保護のため、ベジタブルインキを使用しています。